

オンラインで現場見学

平田建設 学校側の声受け

【帯広】コロナ禍で学生を対象にした現地での現場見学会の開催が難しいため、平田建設(本社・札幌)は10日、オンラインで実施した。緊急事態宣言により中止を検討したが、生徒に現場を見せたい学校側の声を受け、教室と土木現場を映像で結んだ。

同社は2019年からi-Constructionに特化した現場見学会を開催。先端技術の効果を紹介するほか、ICT建機の操縦体験などを用意してきた。

今回は中止も検討したが、学校は例年9月に実

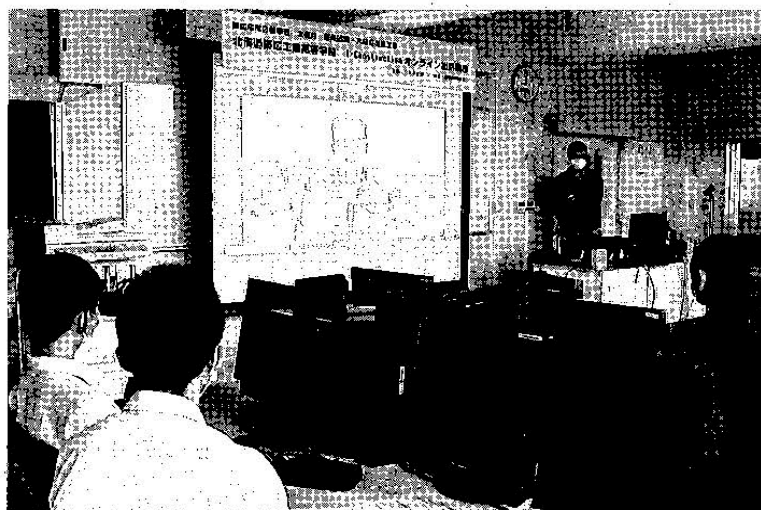
もクリアで聞きやすかった。現場見学会を通して土木に興味を持ち、学ぶ生徒が多いのでありがたい」と感謝。採用担当の萩野喜真業務課長は「リ

ターンの機会がない状況を危惧。話を聞いた同社は管内の映像会社に委託し、オンラインでの開催を決めた。

帯広開建発注の帯広広尾自動車道大樹町大樹北改良と同歴舟道路改良の2カ所で実施した。帯広工高とZoomでつなぎ、環境土木科2年生39人に工事内容やICT施工の特徴を紹介。埼玉真にある日立建機日本の担当者とリモートでつなぎ、ICT建機の仕組みと特徴を解説した。

岡本博教諭は「声や音

ハールを重ね、多くの人に協力してもらい実現できた。来年はコロナが収束し、通常通りの開催ができれば」と振り返った。



現場の雰囲気やICT施工の様子を伝えた